

第271回 日本体育大学長距離競技会

【出場結果】

実施日 : 6月1日(土) 10000m 6月2日(日) 5000m

出場者 : 渡辺 瑠偉 ・ 松本 流星 ・ 親崎 達朗

出場種目・出場者・リザルト

氏名	親 崎	松 本	親 崎	渡 辺
種目	10000m	5000m	5000m	5000m
組	6組目	10組目	12組目	13組目
タイム	29' 57" 70	15' 24" 77	14' 36" 71	14' 57" 60
順位	21/25	34/44	13/33	26/28

【レポート】

東日本実業団選手権後のトラックレースに親崎が 5000m・10000m の 2 種目に、松本、渡辺が 5000mに出場しました。

先ず6月1日(土)に行われた 10000m は 20 時のスタートながら蒸し暑さを感じるコンディションの中、強豪選手が集結する最終 6 組にエントリーされた親崎が集団のハイペースに引っ張られて 2000m の通過を 5 分 42 秒で通過、身体が固まり集団から離されると、その後は 3 分 / km をオーバーするペースを何とか維持して 5000m を 14 分 53 秒で通過し、そこからは再び息を吹き返し、一人で 3 分切 / km のペースに切替えて前方から落ちてくる選手をかわす展開で最後までペースは落ちることなく、29 分 57 秒でゴールしました。

蒸し暑い厳しい条件の中、一人で後半のペースを作れたことは価値ある結果でした。



6月2日（土）に行われた 5000m は昨日までの蒸し暑さも落ち着いた薄曇りの天候で、走るにはますますのコンディションとなりました。

出場選手最初に 10 組目に出場した松本は先日の東日本実業団選手権での失敗を取り戻そうと 3000m までは 3 分 / km を維持する 8 分 59 秒での通過となるも、後半 2000m は再び失速し 15 分 24 秒でのゴールとなり、まだまだ課題の残るレースとなりました。



続いて 12 組目には二日連戦となる親崎が出場しました。

親崎は自己記録更新を目標に積極的に先頭集団に喰らいつき、3000m を 8 分 39 秒で通過しましたが、連戦の疲れで後半は身体が固まってしまい 14 分 36 秒でのゴールとなり、自己記録は出せなかったものの 2 日続けて高いレベルでの走りが維持出来ており、安定して結果を残せていることから、次戦の走りも楽しみな結果となりました。



13 組目に出場した渡辺も東日本実業団で練習通りの力が発揮出来なかったため、リベンジを賭けての出場でしたが、2000m を 5 分 44 秒で通過するまでは良かったものの、先頭集団がペースアップすると、次第に集団から離れてしまい、本来の走りを披露することなく 14 分 57 秒でのゴールとなりました。



まだまだ個人個人に課題を残す結果でしたが、次戦は 6 月 29 日に男鹿駅伝を控えており、これまでの個人レースと違いチームの総力戦となるため、一人一人の体調管理を徹底し、当日は一般の部の優勝はもとより、大学チームと競り合える様、チーム力強化に邁進して参ります。

今後とも、当社チームに皆様の温かいご声援をお願い致します。

以 上